

日本物理教育学会 ニューズレター

応用物理学会春季学術講演会に日本物理教育学会員は登壇申込ができます

2013年3月27日(水)～30日(土)の日程で2013年第60回応用物理学会春季学術講演会が神奈川工科大学で開催されます。本学会員は協定学協会員として登壇申し込みができます。希望される方は以下の手順でお申し込みください。

1. 応用物理学会のホームページにアクセスする (<http://www.jsap.or.jp>)
2. 「第60回応用物理学会春季学術講演会」のページに入る
3. 「登壇申込」→「一般講演の電子投稿」→「登壇申込」
4. 「1. 会員番号」の項目の「(赤字) 協定学協会員の方は・・・ pesj000と入力してください」に従って手続きをしてください。

1月6日が締め切りですので、是非お早めにお申し込みください。

2013年度大学入試センター試験 「物理I」問題アンケートのお願い

本学会では毎年、大学入試センター試験の後、会員諸氏(年度ごとに会員番号の末尾数字により抽出)に、大学入試センター試験物理問題(物理I)についてのアンケートをお願いしてきました。その集計結果と意見に基づき、学会としての意見をまとめ、大学入試センターへ意見書を提出しております。これまで同意見書は、大学入試センター発行「大学入試センター試験—実施結果と試験問題に関する意見・評価—」に掲載(以下のウェブサイトにて公開)され、

http://www.dnc.ac.jp/modules/center_exam/content0092.html

学会誌「物理教育」にも報告させて頂いております。大学入試センターも本学会からの意見を尊重し、その集計結果のみならず、会員諸氏の様々な意見について逐一検討し、試験問題の改善に際して多少なりとも反映されているようです。

今回も例年に準じ、大学入試センター試験終了後、会員番号の末尾が“2”および“3”である会員各位、並びに理事、監事、評議員、編集委員各位と新入会員各位へアンケートを郵送致しますが、本学会ホームページ

<http://www.pesj.jp>

からもアンケート用紙をダウンロードできるようにする予定です。今回の抽出に該当しない会員諸氏でアンケートにご協力頂ける方、周囲の関係各位へ協力をお願いできる方は、ホームページからのダウンロード版をご利用下さい。

会員各位におかれましては、ご多忙なことは承知致しておりますが、どうぞ忌憚のないご意見、ご指摘をお寄せ下さい。回答は 1月31日(木)迄 に当方へ届きますよう、下記宛で 郵送 下さい。集計作業の都合により、回答は郵送での回収のみとさせて頂いております。ダウンロード版をご利用の方は、プリントアウトしてご回答の上、ご郵送下さい。また、ご郵送頂く際の郵送費は、申し訳ありませんが、ご負担頂きますようお願い致します。

▶アンケート送付先

〒154-0001 東京都世田谷区池尻 4-5-1

駒場東邦中高等学校 理科(物理) 井上 健

学会が関連する イベントカレンダー

2013年1月6日(日)

17:00【応用物理学会】

応用物理学会春季学術講演会
登壇申し込み締め切り

2013年1月8日(火)

【北海道支部】

高校物理の授業に役立つ基本実験
講習会・北海道
於 札幌北高校

2013年1月13日(日)・14日(月祝)

【学会後援】

シンポジウム

「科学をどう教えるか2」
於 東海大学代々木校舎

2013年1月31日(木)

大学入試センター試験「物理I」
問題アンケート送付締切

2013年2月16日(土)

12:00～16:30【中国四国支部】

明日から使える

理科教材ワークショップ(IX)

於 広島県情報プラザ(産業技術交流センター)第一・第二研修室

2013年3月27日(水)-30日(土)

応用物理学会春季学術講演会
於 神奈川工科大学

2013年7月14日(日)-19日(金)

第12回アジア太平洋物理学会
(APPC12)

於 幕張メッセ国際会議場

2013年8月10日(土)-11日(日)

第30回物理教育研究大会

於 東北大学片平キャンパス

学会関連イベントは、以下のサイトでも紹介しています

<http://pesj.jp/event>

シンポジウム「科学をどう教えるか2」(学会後援行事) 開催のお知らせ

シンポジウム「科学をどう教えるか2」のご案内です。

【主催】NPO法人理科カリキュラムを考える会
東海大学教育開発研究所

【後援】日本物理教育学会

【日程】2013年1月13日(日) 13時~18時半
14日(月祝) 9時半~16時

【会場】東海大学代々木キャンパス 4号館5階講堂

【詳細】次のサイトから事前にお申込ください(当日申込みも出来ますが、なるべく事前をお願いします)

<http://www.ried.tokai.ac.jp/ried/files/events/entryform20130113/>

【参加費】(当日会場にて集めます)

事前申し込み 一般3,000円 会員2,000円 学生1,000円

当日申し込み 一般3,200円 会員2,200円 学生1,000円

※主催・後援団体の会員(東海大学は教職員)は、参加費が割引きの会員価格となります。

【問い合わせ】小川慎二郎(早稲田大学高等学院)
sympo@rikakari.jp

プログラム概略は以下の通りです。上記サイトで詳細をご覧の上、ぜひご参加ください。

1日目プログラム

<挨拶>授業に生かそう—科学をどう教えるか

滝川洋二(NPO法人理科カリキュラムを考える会理事長・東海大学教育開発研究所所長)

<講演>新学習指導要領実施—成果と課題—

清原洋一(文部科学省・教育政策研究所)

<特集>読書「科学をどう教えるか」について

- ▶「科学をどう教えるか」を翻訳し高校の授業で試みて
岸澤真一(拓殖大学)
- ▶「科学をどう教えるか」連続読書会
—読んで議論することで見えてきた課題—
小川慎二郎(早稲田大学高等学院)
- ▶「科学をどう教えるか」の周辺—マクダーモット, ミンストレル, ミネソタ大の協同的問題解答など—
笠潤平(香川大学)
- ▶Comparing classrooms in terms of underlying mechanisms for learning: the case study of Open Source Tutorials at Tokyo Gakugei University
Mike Hull (Maryland大学)
- ▶「科学をどう教えるか」を自分の実践に取り入れるために
木村優里(立教大学)・館野泰一(東京大学)

【事務局より】今号は、年始の話題のみを掲載させていただきました。ニューズレターで広報したい行事などありましたら、1月15日までにnews@pesj.jp (@は半角の@に直してください)へご連絡ください。編集委員会で掲載の適否を審議し、記述を編集いたします。



2日目プログラム

<ワークショップ>生徒と教員、生徒同士のやり取りを取り入れた演習実験講義(ILD)の実践

石井登志夫(埼玉県立北本高校)・岸澤真一(拓殖大学)
湯口秀敏(埼玉県立大宮高校)

<講演>読んで理解できる教科書作り

兵頭俊夫(小中高理科カリキュラム研究会)

<分科会による研究発表>

- ▶小学校における理科実験・観察実施上の支障—小学校教員のアンケート調査から— 石渡正志(甲南女子大学)
- ▶読んで理解できる教科書作り(小中高理科カリキュラム研究会)
小学校「電流と磁石」 池田和夫
中学校「化学：化学反応」 大川満里子
中学校「生物：遺伝」 平山勲(小中高理科カリキュラム研究会)
- ▶新指導要領・新教科書のもとでの実践報告 会員有志
- ▶日本各地の授業筆記で解明する明治中期科学教育とその国際的連関
興治文子(新潟大学)・小林昭三(新潟大学)
- ▶ICT活用(リアルタイムセンサー・動画分析)によるアクティブ・ラーニング型授業紹介 小林昭三(新潟大学)
- ▶リアルタイム実験を取り入れた東海大学初年級物理 佐藤実(東海大学)
- ▶福島版放射線教育で何を教えるか—思考の練り上げ模擬授業—
佐々木清(郡山市立明健中学校)
- ▶なぜ理科教育・科学リテラシーなのか：政府のあやまりを自らのあやまりとして正す 林衛(富山大学)

<ポスター発表>(参加募集中)

- ▶マレーシアの理科教育と日本との比較
Marcus Khoo(マレーシア現職中等学校物理教員)

<展示>協賛企業による教育機器の紹介

各協賛企業

発行：日本物理教育学会会長 高橋憲明
編集：日本物理教育学会ニューズレター編集委員会
発行日：2012年12月31日